

理論言語学講座夏期集中

認知言語学 I 2021 年 8 月 13～15 日

時間:1 日目 10:00-17:00 2 日目 10:00-17:00 3 日目 10:00-17:10

日本語文法と一般言語理論 2021 年 8 月 20～22 日

時間:1 日目 10:00-17:00 2 日目 10:00-17:00 3 日目 10:00-17:10

	<p>Langacker を読む:認知文法の基礎から最前線まで 認知言語学 I</p> <p style="text-align: right;">西村 義樹(にしむら・よしき) 東京大学教授 【認知言語学入門】 オンライン</p>
<p>講義概要</p>	<p>この講義では、「言語表現の担う意味とは何か」、「文法は意味とどのように関係しているのか」、「語彙と文法はいかなる関係にあるのか」、「そもそも文法(的な知識の単位)は何のためにあるのか」、「言語の使用を可能にする知識とはいかなるものなのか」等の言語学の根本問題に対する認知文法(cognitive grammar)の考え方を、この理論の創始者 Ronald W. Langacker の著作を深く正確に読み解くことを通して、多角的に検討します。予想を大きく上回る反響をいただいた一昨年度の講義とタイトルは同じですが、その講義では扱えなかった最近の論文からもできるだけ多くの題材を選ぶことによって、この理論の基礎から最前線までをよりよく見渡せる構成にしたいと考えています。英語が専門でない人にも原典に真剣に取り組むことの意義と楽しさを十分に共有していただけるように努力します。</p>
<p>テキスト・参考文献</p>	<p>講義で用いる(画面共有する)テキストはこちらで準備してあらかじめ受講者にお送りする予定です。基本的な参考文献のリストは開講前にお送りする予定です。それ以外の文献も講義中に適宜紹介します。</p>
<p>この課目で前提とされる知識など</p>	<p>(認知文法を含む)認知言語学についての知識は前提としませんが、開講前に西村義樹・野矢茂樹著『言語学の教室:哲学者と学ぶ認知言語学』(中央公論新社)を通読されることをお勧めします。受講者には日本語で書かれた基本的な文献をいくつか開講前にお送りする予定です。</p>
<p>プロフィール</p>	<p>東京大学文学部(言語学研究室)教授 専門は認知言語学、意味論、日英語対照研究。 1989 年東京大学大学院人文科学研究科博士課程(英語英米文学専攻)中退。 『構文と事象構造』(共著、研究社、1998)、『認知言語学 I :事象構造』(編著、東京大学出版会、2002)、『明解言語学辞典』(共編著、三省堂、2015)、『日英対照 文法と語彙への統合的アプローチ:生成文法・認知言語学と日本語学』(共編著、開拓社、2016)、『メンタル・コーパス:母語話者の頭の中には何があるのか』(共編訳、くろしお出版、2017)、『認知文法論 I』(編著、大修館書店、2018)、『慣用表現・変則的表現から見える英語の姿』(共編著、開拓社、2019)、『認知言語学を拓く』、『認知言語学を紡ぐ』(いずれも共編著、くろしお出版、2019)など。</p>

	<p>日本語の具体的な言語事実の観察,記述から,理論的な説明を目指して 日本語文法と一般言語理論</p>	<p style="text-align: right;">三宅 知宏(みやけ・ともひろ) 大阪大学教授 【言語学特殊講義】 対面形式+オンライン講義を併用予定</p>
<p>講義概要</p>		<p>本講義は,普遍的な一般言語理論を視野に入れながら,個別言語としての日本語について,特に「文法」(形態論,統語論,意味論,語用論との接点を含む)の分野を中心に,議論します。本講義が対象とするのは,日本語の「文法」に関して,①一般言語理論研究を行う上での基礎的な知識を得たい方,②専門的な日本語研究を進める上での知識を得たい方,③日本語教育を行う上での知識を得たい方,④日本語(言語)に知的興味がある方,です。</p> <p>今年度は,日本語において「文法構文」を形成していると考えられる言語現象を複数,観察することを通して,日本語の文法の基礎的事項とその理論的展開について検討する予定です。いわゆる「補助動詞」を含む構文が中心的に取り上げられることとなりますが,それに限定はされません。</p> <p>なお,2018年度,2019年度に引き続いての開講になりますが,講義の内容は異なりますので,今年度はじめての受講,過年度からの連続の受講のいずれでも,問題はありません。</p>
<p>テキスト・参考文献</p>		<p>テキストは使用せず,適宜,プリントを配布します。また,参考文献は講義中に紹介します。</p>
<p>この課目で前提とされる知識など</p>		<p>本講義は,受講にあたっての特別な知識は必要としません</p>
<p>プロフィール</p>		<p>大阪大学大学院文学研究科 教授 1997年大阪大学大学院文学研究科博士後期課程退学.博士(文学)。 専門は,日本語学/言語学。 主要な業績として,『日本語研究のインターフェイス』(くろしお出版 2011),『日本語と他言語』(神奈川新聞社 2007),『語彙論的統語論の新展開』(共編著 くろしお出版 2017)等。</p>